

国際租税特論Ⅰ

選択 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

この講義は、国内税法(所得税、法人税、消費税)の基礎を理解しているか、或いは勉強中の院生向けの科目です。国際課税に関する基本の習得と、国際的二重課税とその排除方法を理解することを目的とします。

2. 授業の到達目標

国際租税法の概要と国際課税の概要を理解すること

実際の国際取引のケースについて、法人税、所得税、消費税の観点から、国際税務の観点から考えられる応用力を養うこと

3. 成績評価の方法および基準

出席状況、予習・復習の取組み、講義でのディスカッション、テキスト(教科書)のレジュメによる発表、税務事例のリサーチ等により総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

本庄資・田井良夫・関口博久 (第4版)国際租税法概論 大蔵財務協会

5. 準備学修の内容

テキスト(教科書)等を事前に読んで予習を心がけて下さい。発表者は事前にレジュメを作成してください。学習に当たって積極的に条文と照らし合わせることを。

6. その他履修上の注意事項

国際租税特論Ⅰと国際租税特論Ⅱを合わせて受講することが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 国際税務の基本
国際租税法の意義
国際租税法の目的
- 【第2回】 国際税務の基本
内国法人と外国法人
居住者と非居住者
国内源泉所得と国外源泉所得
- 【第3回】 国際税務の基本
国内源泉所得と国外源泉所得(続)
恒久的施設
- 【第4回】 国際税務の基本
法人税と源泉所得税
全世界所得課税と領土主義課税
申告納税と源泉徴収
総合課税と分離課税
- 【第5回】 国内税法の考え方
内国法人・居住者の対外活動
外国税額控除
外国子会社配当
- 【第6回】 国内法による非居住者課税
- 【第7回】 国内法による外国法人課税
外国法人の定義
恒久的施設を有しない外国法人
- 【第8回】 国内法による外国法人課税(続)
恒久的施設を有する外国法人
- 【第9回】 国際的二重課税の排除
免除方式と外国税額控除
我が国の直接外国税額控除
- 【第10回】 国際的二重課税の排除
国外所得金額と外国税額控除限度額
外国子会社配当益金不算入
租税条約の適用
- 【第11回】 国際的二重非課税の防止
- 【第12回】 我が国の租税条約
- 【第13回】 我が国の租税条約(続)
租税条約等実施特例法
OECDモデル租税条約
- 【第14回】 国境を超える取引と消費税
- 【第15回】 国際租税特論Ⅰ まとめ